

# 赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画 策定検討会

---

## 第6回資料

令和6年8月1日

北区拠点まちづくり担当部拠点まちづくり担当課

## 第6回検討会のプログラムについて

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1. これまでの振り返りと検討会の進め方について       | P.2  |
| (1) 第5回検討会でのご意見及び意見シートについて     | P.2  |
| (2) 本日（第6回検討会）の進め方について         | P.4  |
| 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り    | P.5  |
| (1) まちの成り立ちについて                | P.5  |
| (2) 取り組むべき課題と課題解決のためのミッションについて | P.17 |
| 3. 意見交換（グループワーク）               | P.32 |
| 【パート1】    ハード面での問題と取り組むべき課題    |      |
| 【パート2】    まちづくりをする上で大切にしたい価値観  |      |
| 【パート3】    まとめの発表とディスカッション      |      |
| 4. 今後の進め方等について                 | P.36 |



# 1. これまでの振り返りと検討会の進め方について

## (1) 第5回検討会でのご意見



○×△や点数で評価することには納得できない。この表の進め方、点数付け、評価外に至るまでの一連の進め方について、もう少し丁寧に進める方法があったのではないかと思う。もっと多くの率直な意見を皆で話し合いたい。



絞り込むためには、相対評価が必要になってくると思うが、中間報告で何を指すかによっては、絶対評価のまま出すこともあり得るので、中間報告で何をどこまで出すのかというのを、もう一度議論する必要がある。



意見シートが送られてきたのが検討会の一週間前だったので、時間がなかった。自治会を代表して出てきているので、自治会長と相談する時間が欲しかった。



文化的なことや歴史的なことの部分では、観光物件などは古くなるから良くなるものもある。逆に古くなるから現状維持は衰退と考える部分もあり、その両側面がそれぞれの項目で見られているのかが疑問である。



シナリオを絞り込むこと、そのためには比較評価をしなければいけないことについては、理解いただいたと思うが、5つの点（説明不足・時間不足・評価方法・案の絞り込み・市民参加）を解消した上でないと中間報告に進めないと考える。

# 1. これまでの振り返りと検討会の進め方について

## (1) 第5回検討会でのご意見及び検討委員から寄せられた意見シートの内容について

<別 紙>

- ✓ 第5回検討会でのご意見
- ✓ 意見シート

# 1. これまでの振り返りと検討会の進め方について

## (2) 本日（第6回検討会）の進め方について

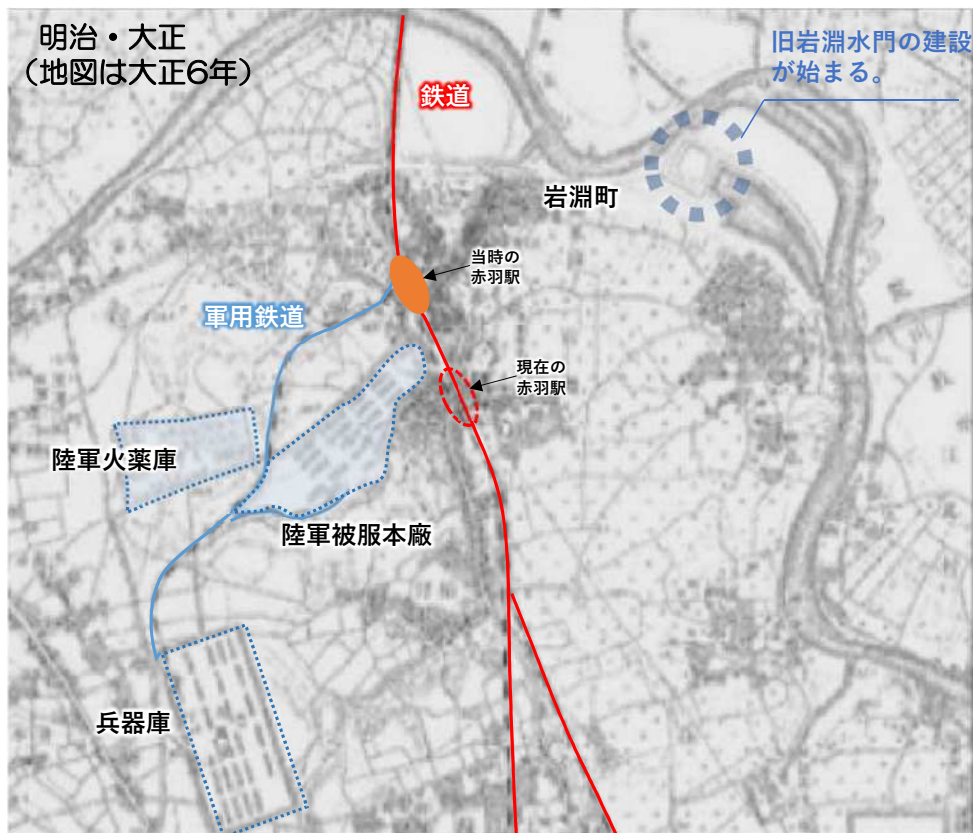
□第6回検討会では、

- 赤羽駅周辺地区の「まちの成り立ち」、「上位計画」、「現状や問題点」などを振り返り、これまで検討してきた「ミッション」につながる「**取り組むべき課題**」について、**検討委員の皆様と共通認識を持ちたい**と考えています。
- また、ワークショップ形式により、前半では「**ハード面での問題と取り組むべき課題**」について、後半では「**まちづくりをする上で大切にしたい価値観**」について、グループ内で意見交換していただき、「**どのようなまちを目指すのか**」について**考察したい**と考えています。



## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況



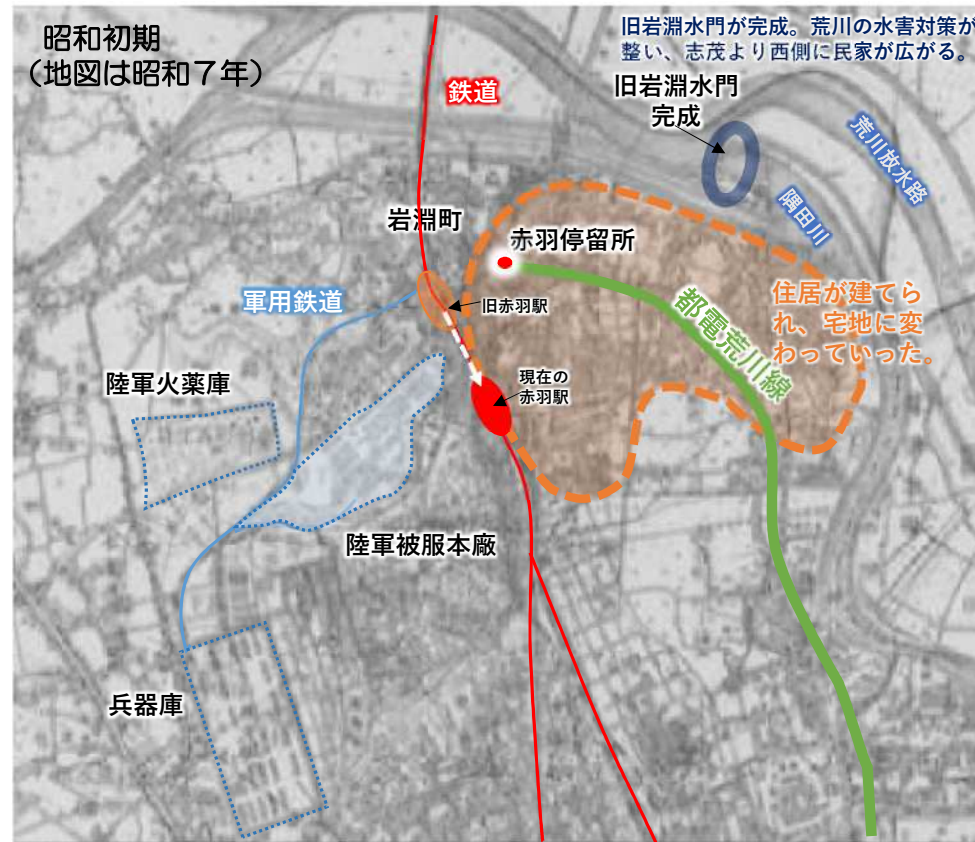
- 赤羽は主に軍用地であった。輸送の便がよく、赤羽西口のエリアでは安全な高台があり、東口は農村が広がっていた。
- 明治18年 品川線の開業に伴い、赤羽駅が敷設され交通の要所に。(当時の赤羽駅は現在より北側に位置)
- 大正13年 度重なる荒川の洪水被害への対策として荒川放水路が掘り進められ、旧岩淵水門が建設された。

#### ○赤羽駅の移転

かつての赤羽駅は、現在の位置より北に400mの位置していたが、昭和3年に京浜線電車の終点となった際に移転し、このとき初めて西口ができた。



駅東側より西側の高台を望む



- 昭和3年 赤羽駅が現在の位置に移転。岩淵宿下流に志茂町が誕生。
- 昭和7年 都電荒川線が赤羽まで延伸。赤羽駅の開業により、都電荒川停留所と国営赤羽駅を大勢の人が行き交い、商店街が非常に賑わった。
- 赤羽駅から志茂町にかけて一戸建てや長屋が建設され、宅地に変化。

#### ○都電荒川停留所

昭和7年の開通以来、都電終点と国営赤羽駅（現在の赤羽駅）を大勢の人が行き交い、商店街も非常に賑わった。



赤羽停留所



## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況



- 戦後赤羽駅東口には闇市ができ、食糧品や日用雑貨が売られていた
- 昭和22年 王子区と滝野川区が一つとなり、北区が誕生
- 昭和27年 東京都による区画整理。赤羽駅と都電の赤羽停留場、志茂停留場などを結ぶ道沿いに商業が発展
- 昭和37年頃 陸軍火薬庫跡地が桐ヶ丘団地、陸軍被覆廠跡地が赤羽台団地となり、大規模団地が形成されていった
- 昭和43年 自動車需要が高まり交通渋滞も発生し、緩和対策の為、都電荒川線の赤羽停留所を閉鎖
- 昭和60年 埼京線開通、東北新幹線（大宮～上野開業）
- 平成3年 南北線開通 赤羽岩淵駅の開業

#### ○赤羽復興会商店街

昭和21年1月、赤羽復興会商店街商業協同組合が結成され、東京都第1号の認可を得た。戦後の焼け跡からの復興を目的とした商店街で、自然的に発生した商店街と違って、居住者らで力を合わせ、土地の繁盛策のために計画した商店街として、模範的な例となっている。



赤羽駅復興街（昭和28年）

#### ○活気のある赤羽一番街商店街（昭和37年）

赤羽駅は東京北部の要衝であり、板橋や浮間、埼玉県戸田市、川口市を結ぶバスが運行されていた。地元民に加え、こうした各地からの買い物客をも集めたのが商業の街・赤羽だった。



赤羽駅東口（昭和37年）



## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況



赤羽駅東口（1960年頃）



赤羽駅東口（現在）



赤羽一番街（1960年頃）



赤羽一番街（現在）



## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

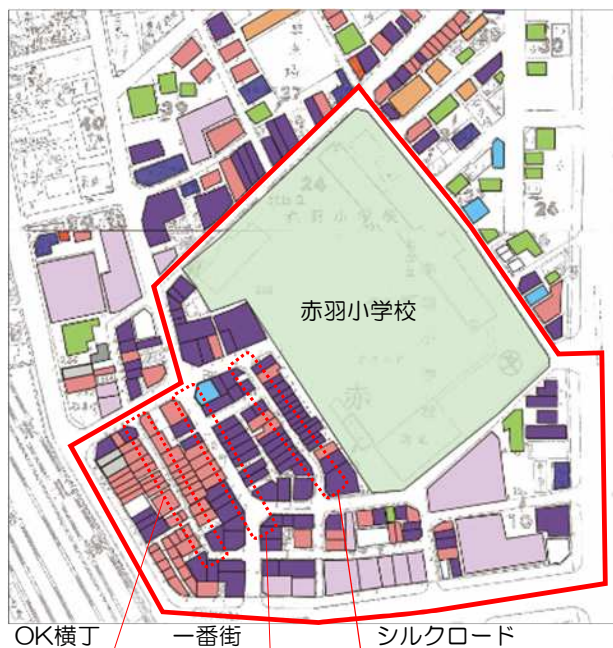
### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 赤羽駅東口周辺の土地利用の変遷

住宅地図を読み取り、記載されている屋号で下記の通り分類した。

凡例	重点区域	物販店	飲食店	事務所	商業業務 複合施設	集合住宅	戸建住宅	医療系	宿泊・ 娯楽施設	その他
----	------	-----	-----	-----	--------------	------	------	-----	-------------	-----

～1970年



シルクロードには物販店が並び、OK横丁周辺には飲食店が多く見られる。

1990～2000年



一番街、シルクロードでは、物販店から飲食店へ徐々に業態を変えていった。

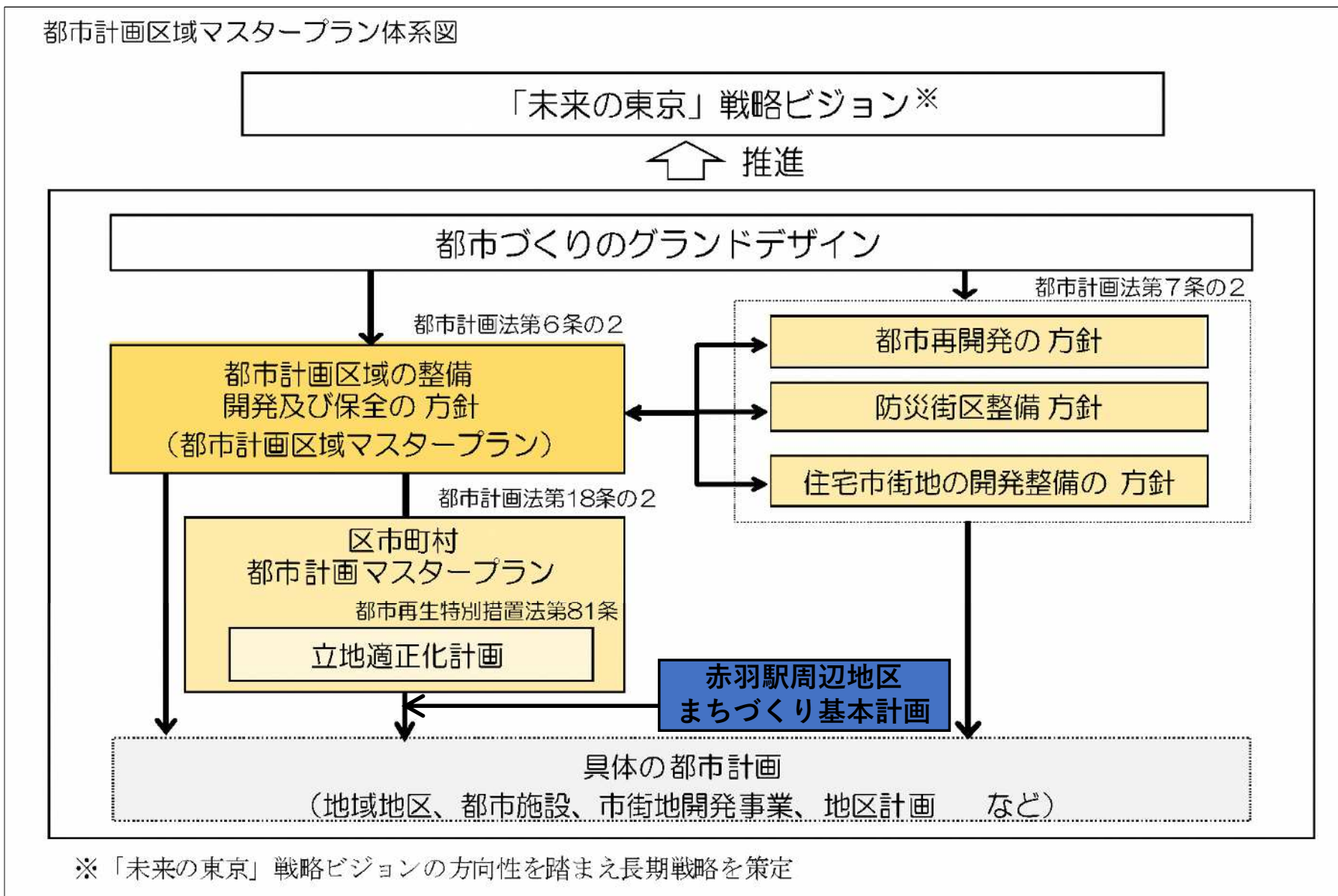
2023年



一番街、シルクロード沿いに飲食店が立ち並び、せんべろのまちとしてにぎわっている。

## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況





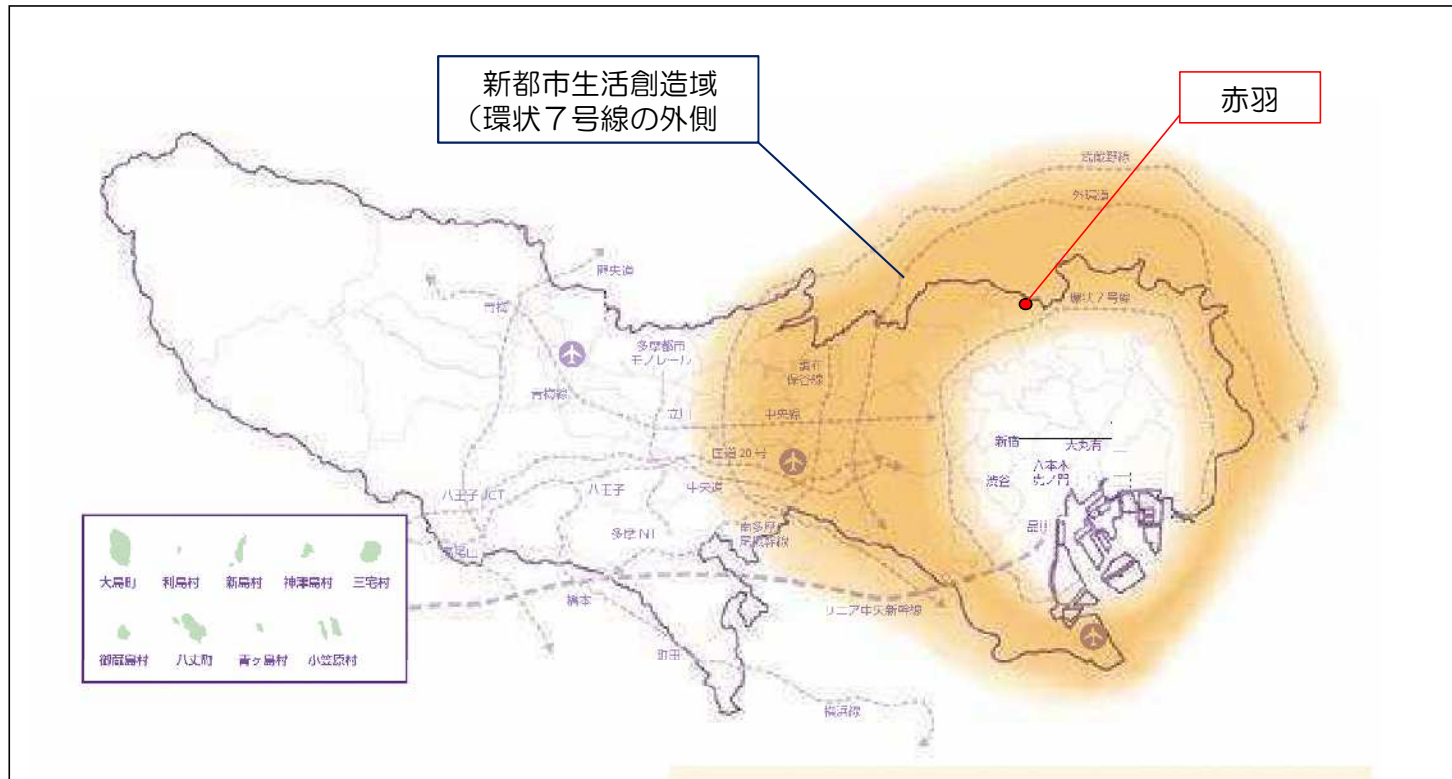
## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 都市づくりのグランドデザイン

・東京都「都市づくりのグランドデザイン」で赤羽は、新都市生活創造域に位置し、交通結節性を生かし、商業、教育、文化機能等の集積により、利便性の高いにぎわいのある拠点形成や地域づくりを進めていく、とされています。

〈地域区分図〉



#### 【新都市生活創造域における地区の将来像】

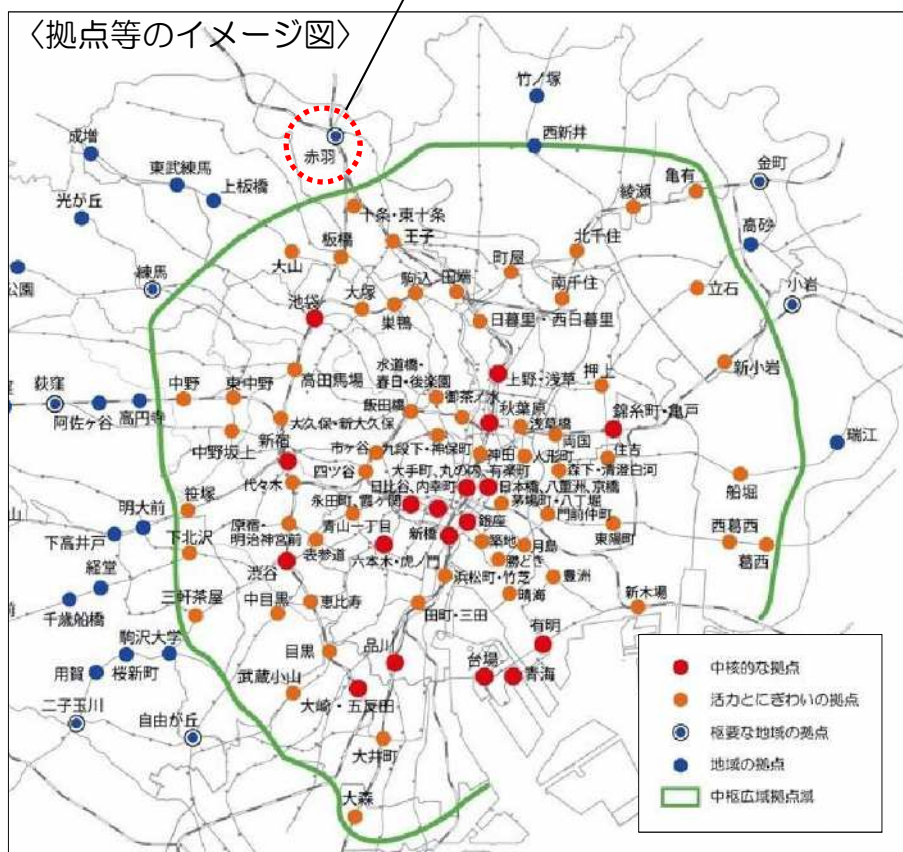
赤羽	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通結節性を生かし、商業、教育、文化機能等の集積により、利便性の高いにぎわいのある拠点が形成されています。</li><li>・都市住宅等の大規模団地の更新が進み、生活利便機能の整った良好な住環境が形成されています。</li></ul>
----	--

## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針【都市計画区域マスタープラン】

● 赤羽は「**枢要な地域の拠点**」に位置付けられている



#### 【特色ある地域の将来像】

赤羽

・ **交通結節性を生かし、商業、教育、文化機能等の集積や、駅周辺再開発などの適切な高度利用の促進により、利便性の高いにぎわいのある枢要な地域の拠点を形成。**

・ 大規模団地の更新が進み、生活利便機能の整った良好な住空間を形成。

・ 木造住宅密集地域において、特定整備路線や防災生活道路等の整備、建築物の不燃化・耐震化や共同化、無電柱化などが進み、安全な市街地を形成するとともに、良好な住環境と地域コミュニティを形成。

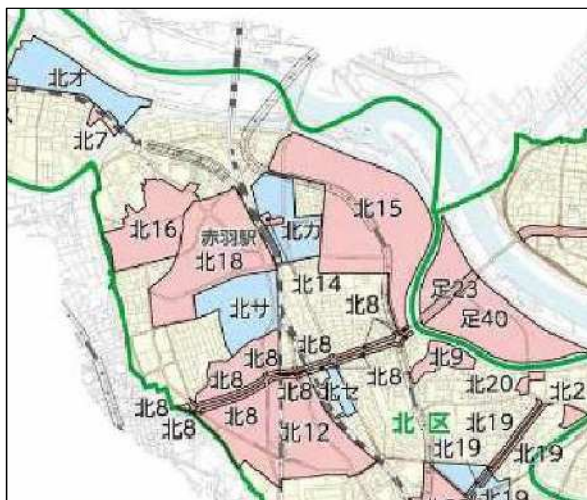


## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 都市再開発の方針

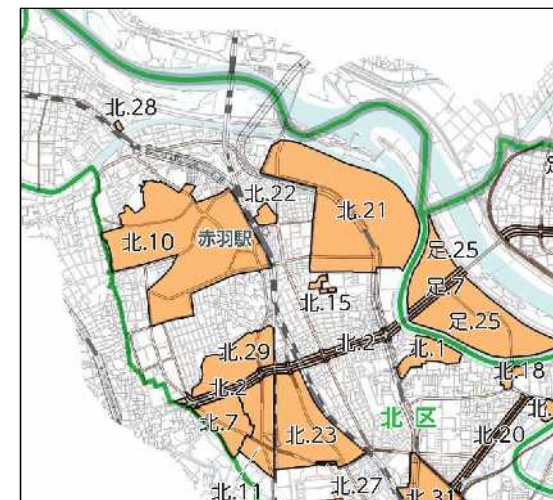
赤羽一丁目地区は、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区とされる**2号地区**に指定されています。



《北14》  
赤羽一丁目1.7ha  
(赤羽一丁目再開発)  
**2号地区**に指定

#### □ 住宅市街地の開発整備の方針

赤羽一丁目地区は、住宅市街地のうち開発すべき地区とされる**重点地区**に指定されています。



《北22》  
赤羽一丁目3ha  
(赤羽一丁目再開発区域、  
赤羽小学校の範囲)  
**住宅重点地区**に指定

北.14  
赤羽駅東口  
一番街地区

区内最大の商業地にふさわしい**活気と魅力ある広域商業地区に育成**するとともに、西口地区と東口地区の一体化及び**土地の合理的かつ健全な高度利用を図る。**

地区の  
選定

住宅市街地のうち、一体的かつ総合的に整備し、又は開発すべき地区を「**重点地区**」として選定し、地区ごとに整備又は開発の目標、整備方針等を定め、計画や事業の積極的な推進を図る。

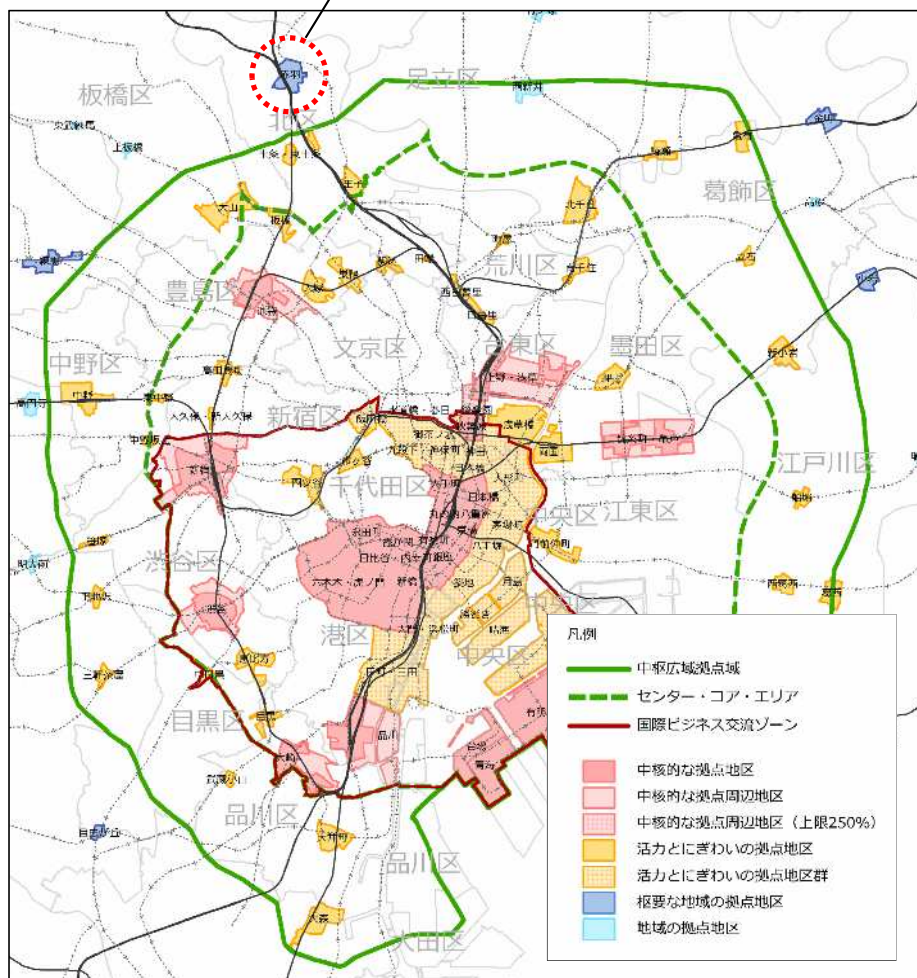
## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

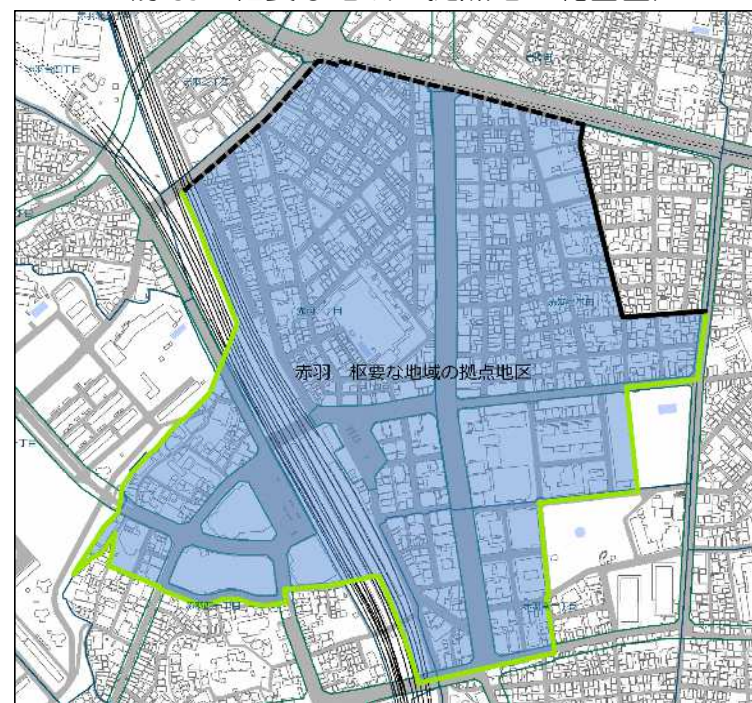
#### □ 新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針

・「都市づくりのグランドデザイン」で示した地域の将来像の実現に向けて、「都市開発諸制度」を活用することで、それぞれの地域特性を生かし、都市の活力があふれる、魅力的な都市空間の形成を図る。

#### ● 赤羽は「枢要な地域の拠点地区」に位置付けられている



〈赤羽 枢要な地域の拠点地区範囲図〉



枢要な地域の  
拠点地区

・枢要な地域の拠点地区では、**商業、医療・福祉などの生活に必要な都市機能や柔軟な働き方、暮らし方にも対応する都市機能の集積を図る。**



## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 北区都市計画マスタープラン2020

#### ○土地利用の基本方針

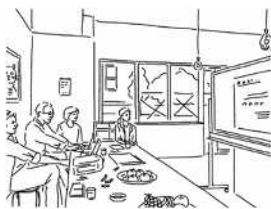
赤羽駅周辺は、「都市中心拠点」「地区連携拠点」「生活中心拠点」3段階の拠点設定のうち、都市機能の集積状況から「**都市中心拠点**」に位置付けられており、王子とともに広域的な東京都市圏において、北の拠点としての役割を担っています。



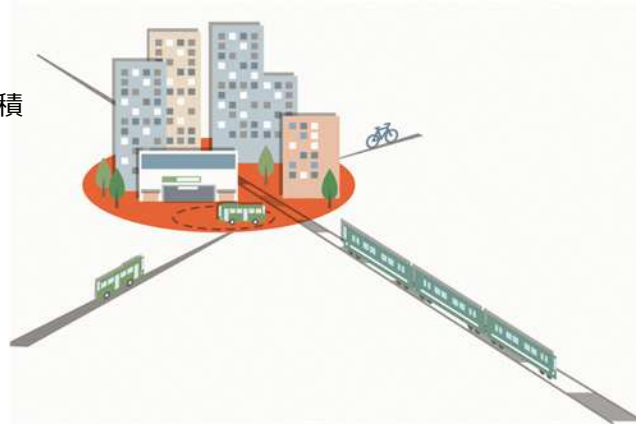
駅を中心とした都市機能の集積



新しい交通手段の導入



住民主体のまちづくり



※商業・業務機能や各地域の特色に応じた都市機能の立地誘導を図り、新たな交流と価値を創出しています。

#### 拠点育成の基本方針

都市中心拠点	にぎわいや交流を生む拠点
地区連携拠点	持続的な生活を支える拠点
生活中心拠点	生活に身近な生活利便施設が集積する拠点

都市中心拠点	「都市中心拠点」は、各拠点の地域特性に応じた都市機能の集積や市街地環境の向上に資する適切な高度利用を促進するとともに、各拠点間における機能の分担・連携を図ります。
--------	---

赤羽	<p>【東京の北の商業拠点】 大規模商業施設と地域に密着した商店街が共存する商業の中心地です。こうした商業機能の維持・強化を図るとともに、官・民・学が連携した協働のまちづくりによるにぎわいの創出を推進することで商業拠点の形成を図ります。</p> <p>また、市街地環境の向上に資する駅周辺の適切な高度利用を促進することで、再開発などの際には居住機能の強化を図るなど、<b>居住の場としても選ばれる</b>東京の北の玄関口として、<b>利便性の高い都市中心拠点の形成</b>を図ります。</p>
----	--

施策展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤羽駅東口地区まちづくりの推進</li> <li>赤羽一丁目市街地再開発事業に合わせた適切な高度利用の誘導と周辺環境の整備</li> <li>商店街における地域交流の場としてのにぎわいづくり</li> <li>赤羽駅及びその周辺のバリアフリー化の推進</li> </ul>
------	---

## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 北区都市計画マスタープラン2020

#### ○ 赤羽東のまちづくり方針

#### ◇ まちの将来像

利便性の高い、安心してらせるにぎわいのあるまち  
「赤羽東」

#### 《将来像の解説》

- ・ 鉄道駅の利便性を最大限に発揮するために、鉄道駅周辺のまちづくりを展開し、**駅を中心とした利便性の高い市街地の形成**を目指します。
- ・ 地域に密着した商店街や、隅田川沿いなどに地域産業の活力となる工場が立地することから、住・商・工の複合的な活気のある市街地の形成を目指します。

#### 《取組方針》

##### □ 土地利用

- ・ 赤羽駅東口地区における市街地再開発事業を契機としたまちづくり
- ・ 赤羽駅周辺において、大街区化などによる都市機能の更新を図ることで、高度利用を促進し、**都市中心拠点としてふさわしい利便性の高いにぎわいのある市街地の形成を図ります。**
- ・ 市街地再開発事業を契機とした周辺環境の整備を図るとともに民間開発を誘導し、**住宅を重点的に供給することで、居住地としても選ばれる市街地の形成を図ります。**



参考：赤羽東のまちづくり方針図



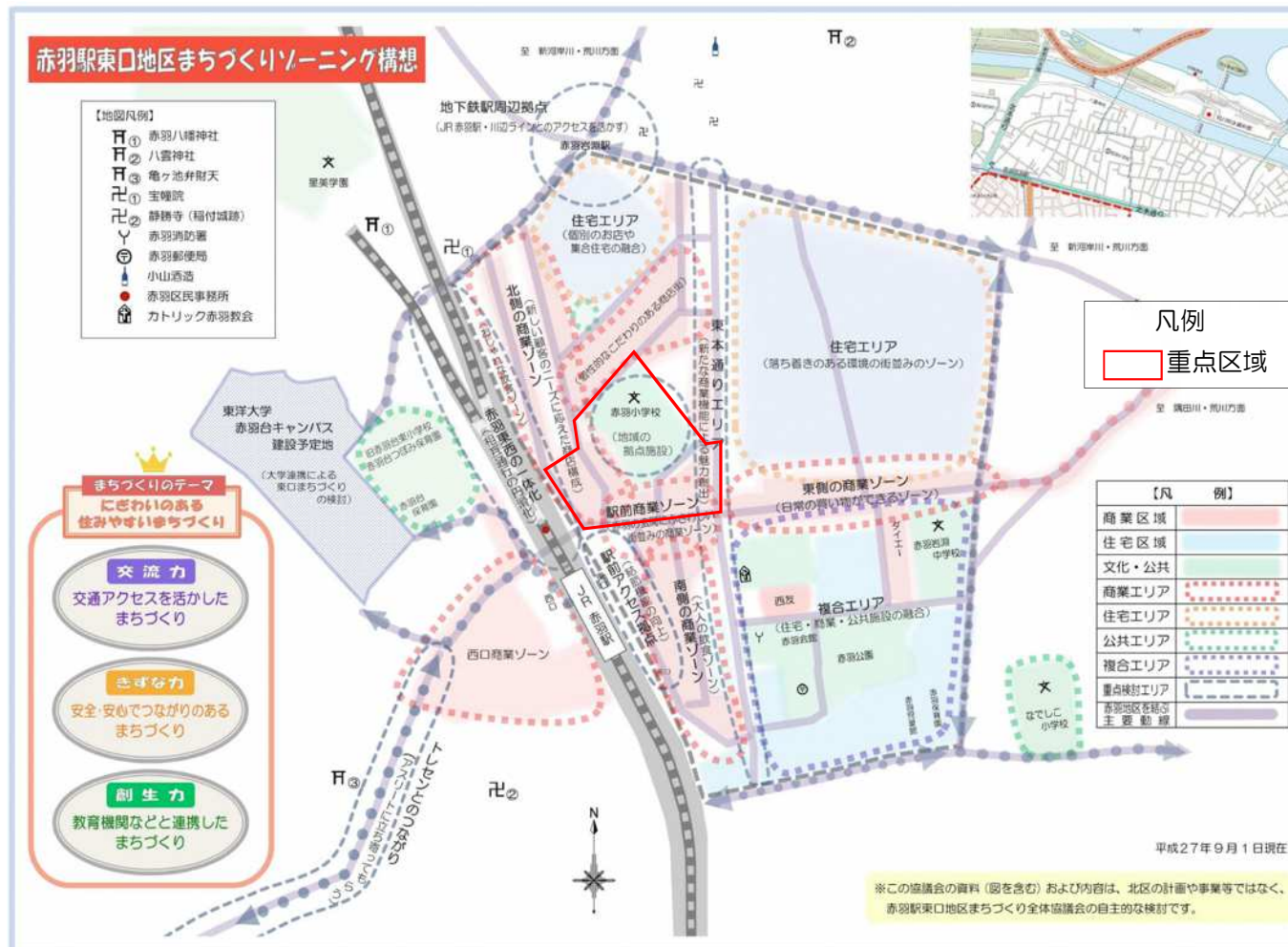
## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (1) 赤羽駅周辺地区のまちの成り立ちと現況

#### □ 赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

赤羽駅東口地区のまちづくりをより一層推進していくため、赤羽駅東口地区（赤羽一丁目、赤羽二丁目、赤羽南一丁目3番～20番地）の約43ヘクタールを対象として、「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」が策定されている。

ゾーニング構想においては、「重点区域（赤枠内）」は、小学校（地域の拠点施設）と駅前商業ゾーン（赤羽の玄関にふさわしい街並みの商業ゾーン）及び北側の商業ゾーン（新しい顧客のニーズに応えた商店構成）として位置付けられている。



#### ●きずな力とは…

災害時の避難・救護や、日常の見守りなど、人と人とのつながりが最も大切と考え、居住者や商業者をはじめ多様な人々が暮らす赤羽だからこそできる、安全・安心のまちづくりを目指します。

#### ●交流力とは…

鉄道をはじめとする交通アクセスの良さを活かし、広域からの来街者を招きます。また、駅の東西、新旧の住民同士、周辺地域との交流を高めることにより、にぎわいにつなげていきます。

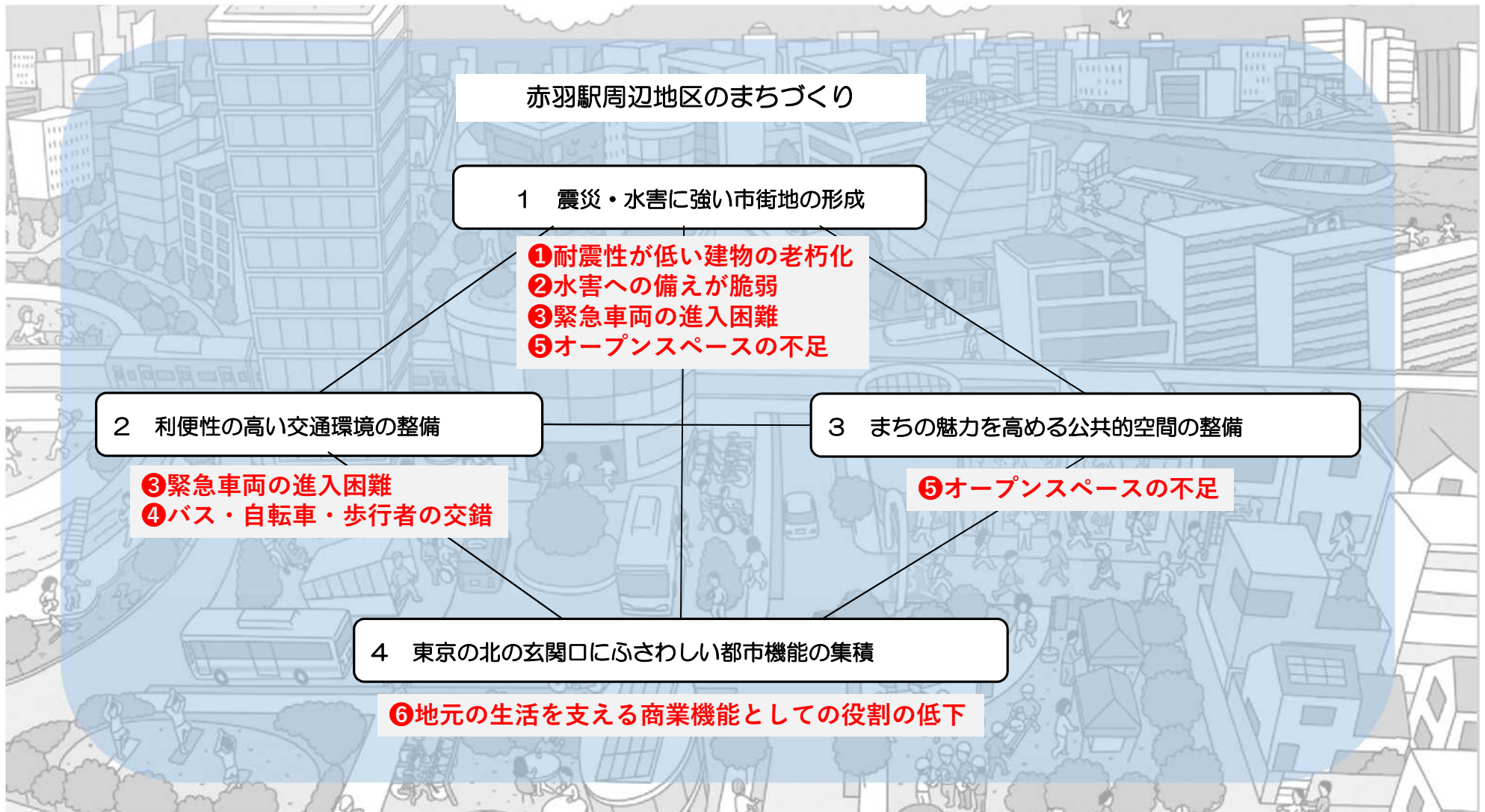
#### ●創生力とは…

西が丘のナショナルトレーニングセンターの存在、赤羽台の東洋大学の開設などまちづくりの大きなチャンスと捉えます。これら周辺の教育機関等や地区の小中学校などと幅広く連携し、まちの魅力を創り育む力にしていきます。

## 2. まちの成り立ちと現況・課題・ミッションの振り返り

### (2) 「取り組むべき課題」と「課題解決のためのミッション」について

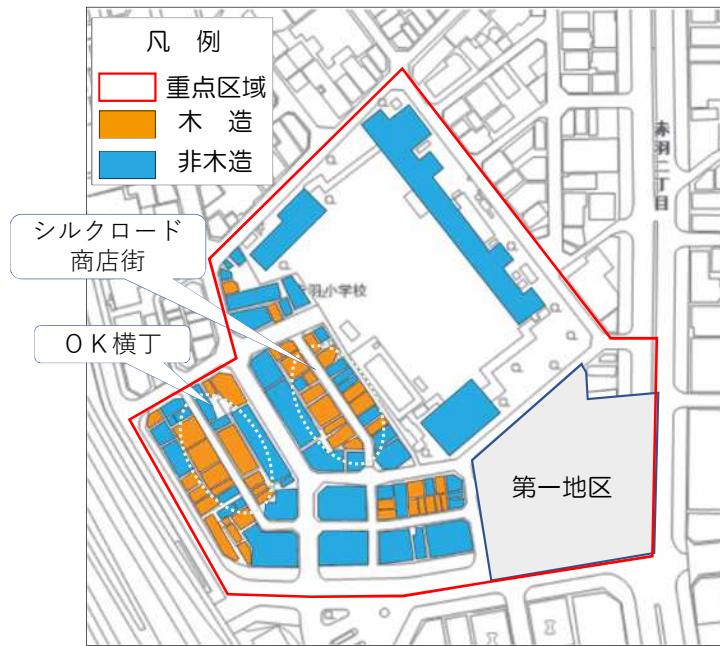
改めて、重点区域内における現状の問題点（①～⑥）と重点的に取り組むべき課題（1～4）について整理し、これまでの検討会でご説明してきたミッションがどのような経緯で設定されているかを確認します。





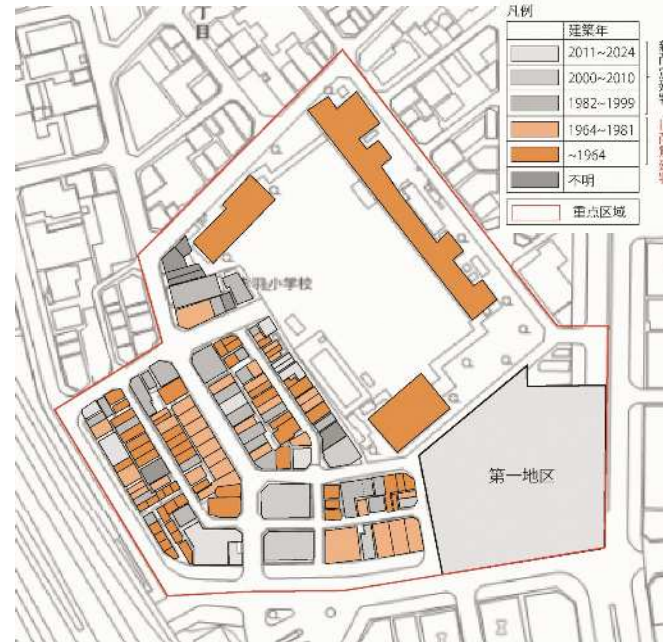
# ① 耐震性が低い建物の老朽化 ▷▷▷ 重点区域内の都市基盤の強靭化

## ◇構造別建物現況



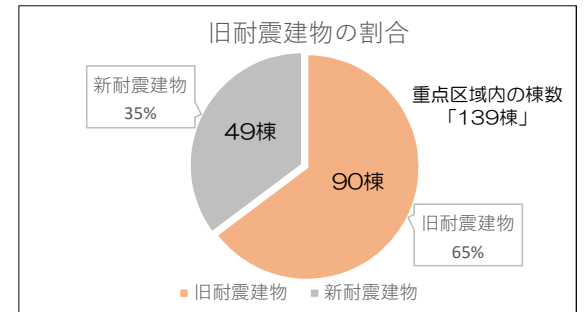
都市計画情報地図を基に作成

## ◇築年別建物



都市計画情報地図を基に作成

## 長屋の状況



**現状** 地震の際に倒壊の懸念がある木造建築物と、現在の耐震基準に変更される前（旧耐震基準時）に建築された建物が全体の2/3を占めており、施設更新の時期を迎えているが、多くの建物の更新が進んでいない。

**問題点** 災害時には脆弱な建物により被害が拡大する恐れがある

木造や旧耐震基準の建物が密集しているうえ 個別建替えが難しい長屋状の建物も多く、災害による延焼火災や倒壊等の被害の恐れがある。

## ミッション1

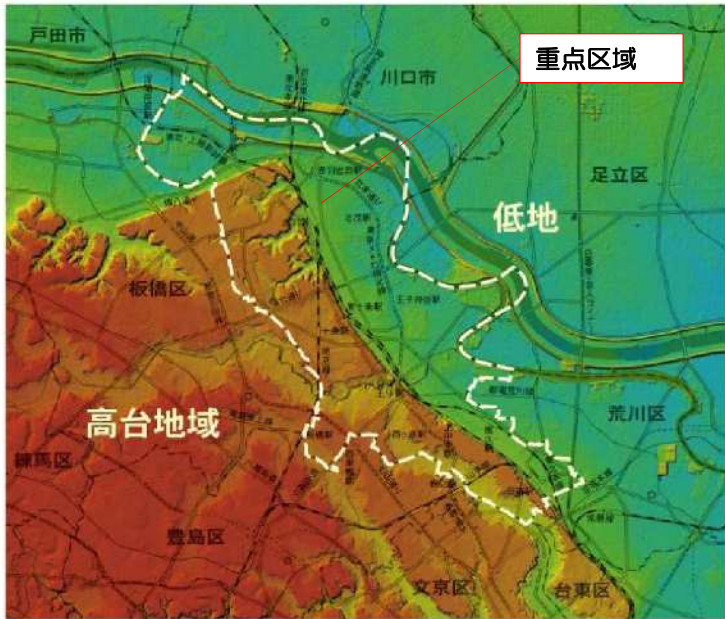
### 取り組むべきまちづくりの課題

#### (1) 震災・水害に強い市街地の形成

- ①重点区域内の都市基盤の強靭化
- ②周辺区域含めた災害対応力の向上（地震・水害）
- ③帰宅困難者対策

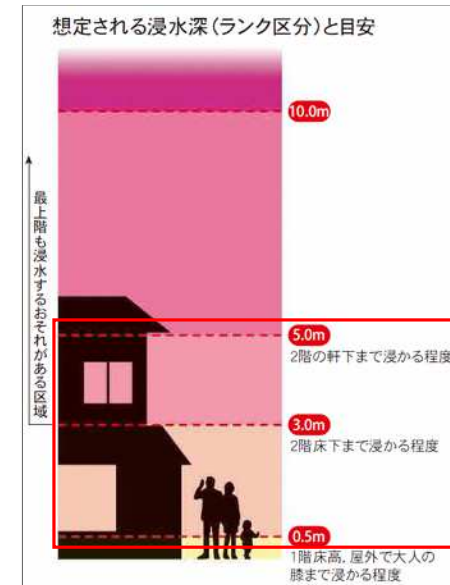
## ② 水害への備えが脆弱 ▷▷▷ 周辺区域を含めた災害対応力の向上

### ◇低地に位置する重点区域



標高陰影起伏図(北区内の状況) 地理院地図(色別標高図・陰影起伏図)に加筆

### ◇東京都北区洪水ハザードマップ (荒川が氾濫した場合)



荒川が氾濫すると、場所によっては2週間以上もの間、水が引かないことが想定される。

現状	200年に1度の大雨で荒川の大規模洪水が発生した場合に、低地部一帯が浸水想定区域となっている。重点区域は早期の立ち退き避難が必要な区域(浸水深さ0.5m~3mのエリア)に含まれている。
----	--

問題点	洪水の際、早期の高台避難が求められる。
	洪水が予想される際に早期の高台避難を容易にする対策が求められる。

ミッション1

**取り組むべきまちづくりの課題**

(1) 震災・水害に強い市街地の形成

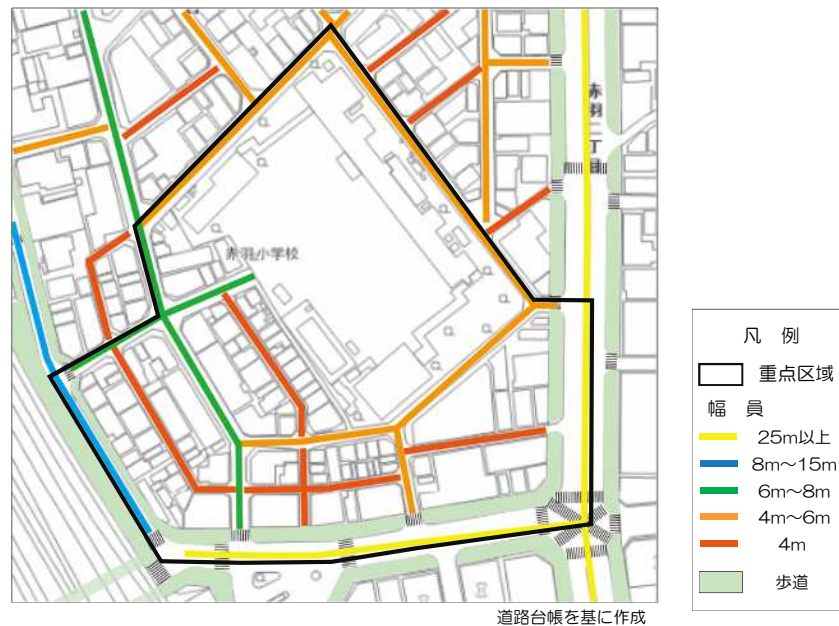
①重点区域内の都市基盤の強靱化

②周辺区域含めた災害対応力の向上  
(地震・水害)

③帰宅困難者対策



◇道路幅員状況



道路幅員が狭い赤羽シルクロード

出典：Tokyo Explorer's Map

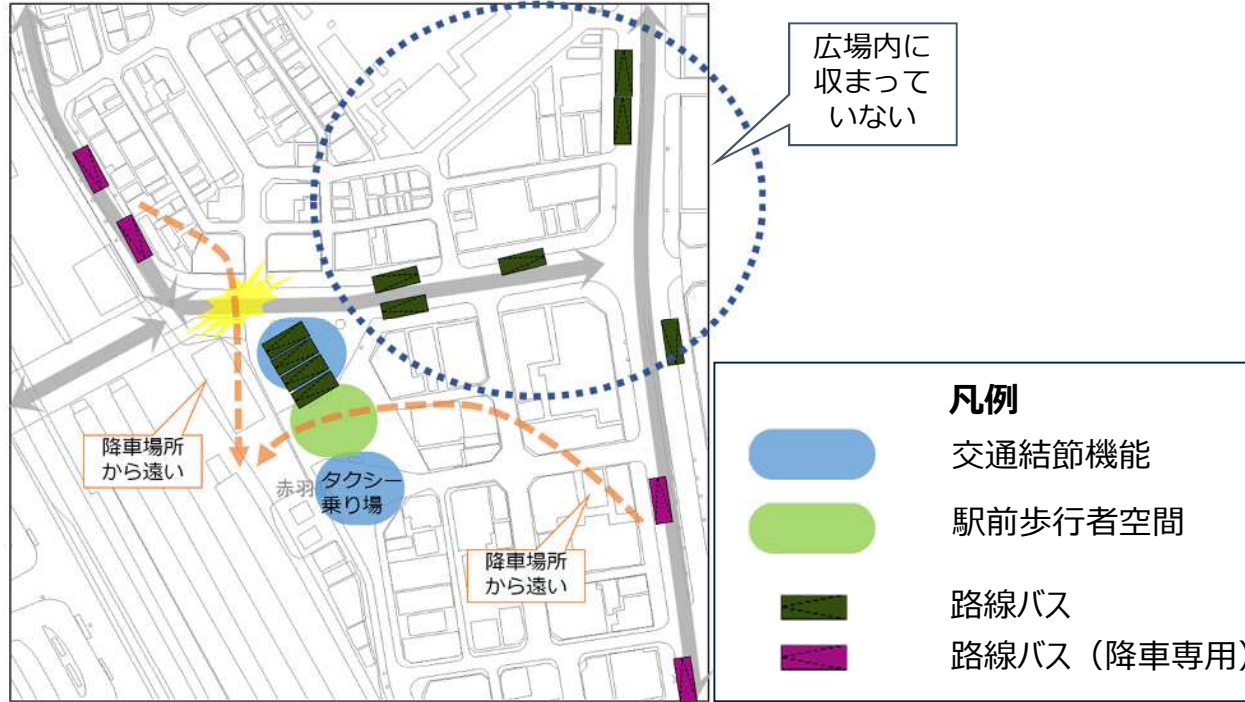
現状	地区周辺に混在する多様な用途に対する《サービス車両、利用者、住民》或いは、《車、歩行者、自転車》等の多様な交通需要を安全に捌く為、一方通行や時間帯で車両の出入りを規制するなど、交通規制によってネットワークを成立させている状態
問題点	<p>細街路・車両規制による交通処理</p> <p>地区内の道路は比較的見通しが悪く、時間規制・一方通行による車両規制で交通処理を行っており、安全な車両の通行に支障がある。</p>



<p>ミッション1</p> <p>取り組むべきまちづくりの課題</p>	
(1) 震災・水害に強い市街地の形成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①重点区域内の都市基盤の強靱化</li> <li>②周辺区域含めた災害対応力の向上（地震・水害）</li> <li>③帰宅困難者対策</li> </ul>	
(2) 利便性の高い交通環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>①円滑な交通基盤の形成 (高度利用に合わせた円滑な車両交通の確保)</li> </ul>	

④ バス・自転車・歩行者の交錯 ▷▷▷ 歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備  
バスの乗り換え環境の改善

◇現況のバス停



広場内のバス待ちの状況

**現状** ①自転車駐車が歩道上に分散配置されている。②9か所中5か所のバス停は駅前広場外に分散配置されている。

**問題点** **歩行者・自転車・バスの交錯**

①歩道において(i)自転車動線と歩行者動線、(ii)バス利用者動線と歩行者動線が錯綜している場合がある（歩行者の安全性の確保に懸念がある）  
②広場内にバスの乗場が収まっておらず、駅から遠い場所に降車バスがあるため、交通結節性が悪い。また、広場内のバス待ち行列が車道にはみ出している。

ミッション1

取り組むべきまちづくりの課題

(2) 利便性の高い交通環境の整備

①円滑な交通基盤の形成  
（高度利用に合わせた円滑な車両交通の確保）

②歩行者・自転車利用者が快適に利用できる環境整備

③バスの乗り換え環境の改善



## 5 オープンスペースの不足 ▷▷▷ 重点区域内の都市基盤の強靱化／緑あふれる憩い集える空間整備

### ◇重点区域周辺のオープンスペース



### ◇有効活用されていない駅前広場



駅前の喫煙所



稼働していない噴水

現状	赤羽駅の周辺には、空地が少ない。
問題点	防災に資するオープンスペースの不足
	災害対応に資するオープンスペースが不足している。
現状	区内他地区と比較して空地率・緑化率・公園率が極めて低い。
問題点	人々が憩い・集える空間の不足
	赤羽駅周辺に、人々が憩い・集える空間が不足している。



ミッション1
取り組むべきまちづくりの課題
(1) 震災・水害に強い市街地の形成
①重点区域内の都市基盤の強靱化
②周辺区域含めた災害対応力の向上（地震・水害）
③帰宅困難者対策
(3) まちの魅力を高める公共的空間の整備
①赤羽の玄関口にふさわしい顔づくり
②緑あふれる憩い集える空間整備

## ⑥ 地元の生活を支える商業機能としての役割の低下 ▶▶▶ 都市機能の導入（商業）

### ◇周辺区域の土地利用の変遷

凡 例	重点区域	物販店	飲食店	事務所	商業業務複合施設	集合住宅	戸建住宅	医療系	宿泊・娯楽施設	その他
-----	------	-----	-----	-----	----------	------	------	-----	---------	-----

～1970年



シルクロードには物販店が並び、OK横丁周辺には飲食店が多く見られる。

1990～2000年 集合住宅が増え始める。



一番街、シルクロードでは、物販店から飲食店へ徐々に業態を変えていった。

2023年



一番街、シルクロード沿いに飲食店が立ち並び、せんべろのまちとくにぎわっている。

赤羽商店街(1960年代)



赤羽商店街(現在)



現状	約50年間で、地元の生活を支える商店街から、来街者が多数訪れる飲食街へ変化した。
----	--

問題点	<p>地元の生活を支える商業機能の役割が果たせていない</p> <p>一部の商店街ではこの数十年間で、物販から飲食への業態の変化が著しく、「せんべろのまち」等として賑わいを生む一方で、治安や風紀上の懸念が生じているとともに、地元の生活を支える商業機能の役割が果たせなくなっている。</p>
-----	--

ミッション1	取り組むべきまちづくりの課題
(4)	東京の北の玄関口にふさわしい都市機能の導入
	①都市機能の導入（商業）
	②都市機能の導入（住宅）
	③重点地区周辺的生活環境の確保



## ⑥ 地元の生活を支える商業機能としての役割の低下 ▷▷▷ 都市機能の導入（商業）

### ◇周辺区域の土地利用の変遷

～1970年



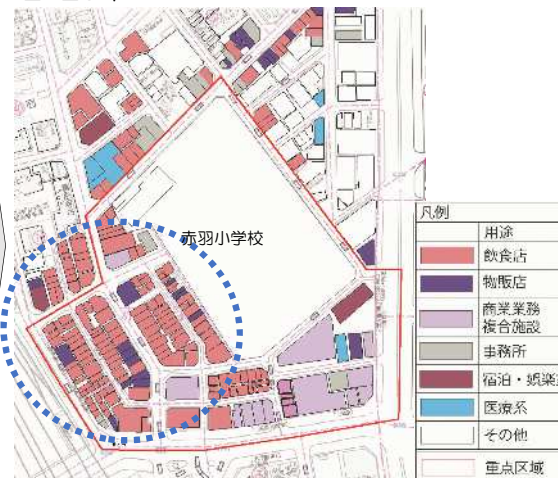
シルクロードには物販店が並び、OK横丁周辺には飲食店が多く見られる。

1990～2000年



一番街、シルクロードでは、物販店から飲食店へ徐々に業態を変える。

2023年



住宅地図を基に作成  
一番街、シルクロード沿いは飲食店が立ち並び。

### ◇周辺区域の土地利用の変遷

～1970年



重点区域には戸建・集合住宅がなく、重点区域北側に戸建住宅・集合住宅が見られる。

1990～2000年



重点区域の北側で集合住宅が増え始める。

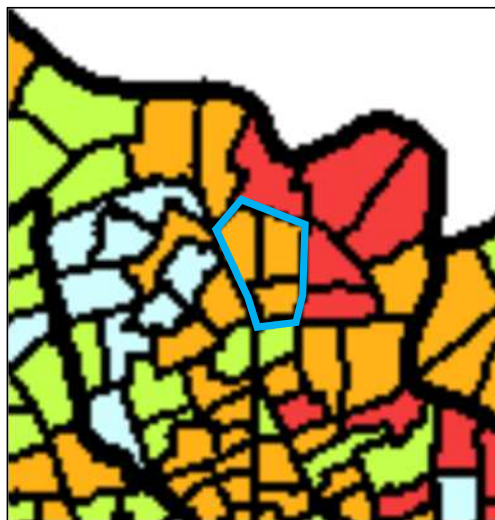
2023年



重点区域には戸建・集合住宅がなく、重点区域北側で集合住宅の開発がさらに進む。

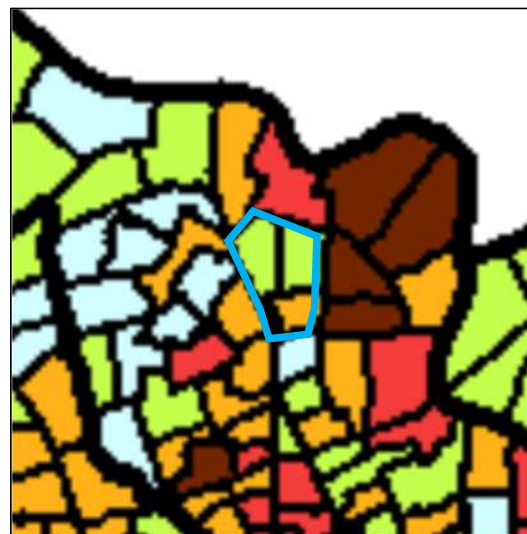
■ 震災

建物倒壊危険度ランク

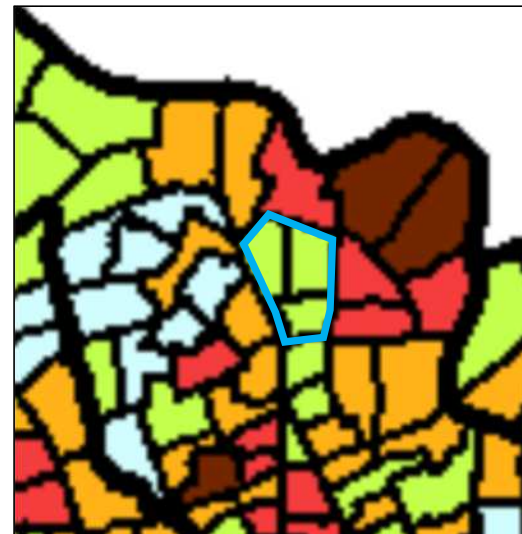


赤羽東地区が全体的に高い

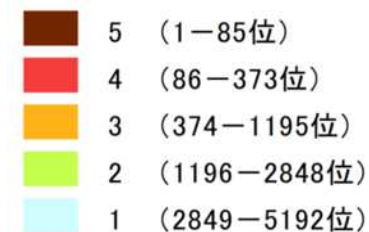
火災危険度ランク



総合危険度ランク



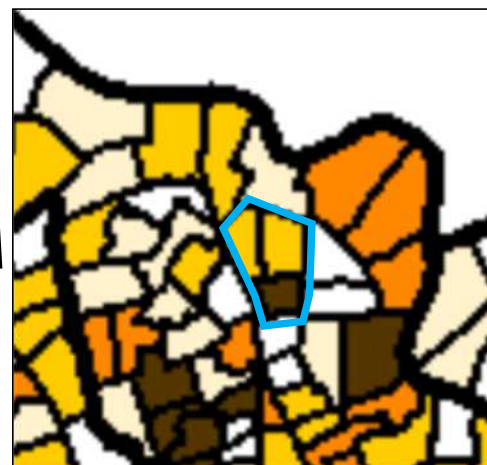
赤羽一・二丁目、  
赤羽南一丁目



火災危険度・総合危険度は赤羽駅から少し離れた区画整理  
されていない区域（岩淵・志茂地区）が高い



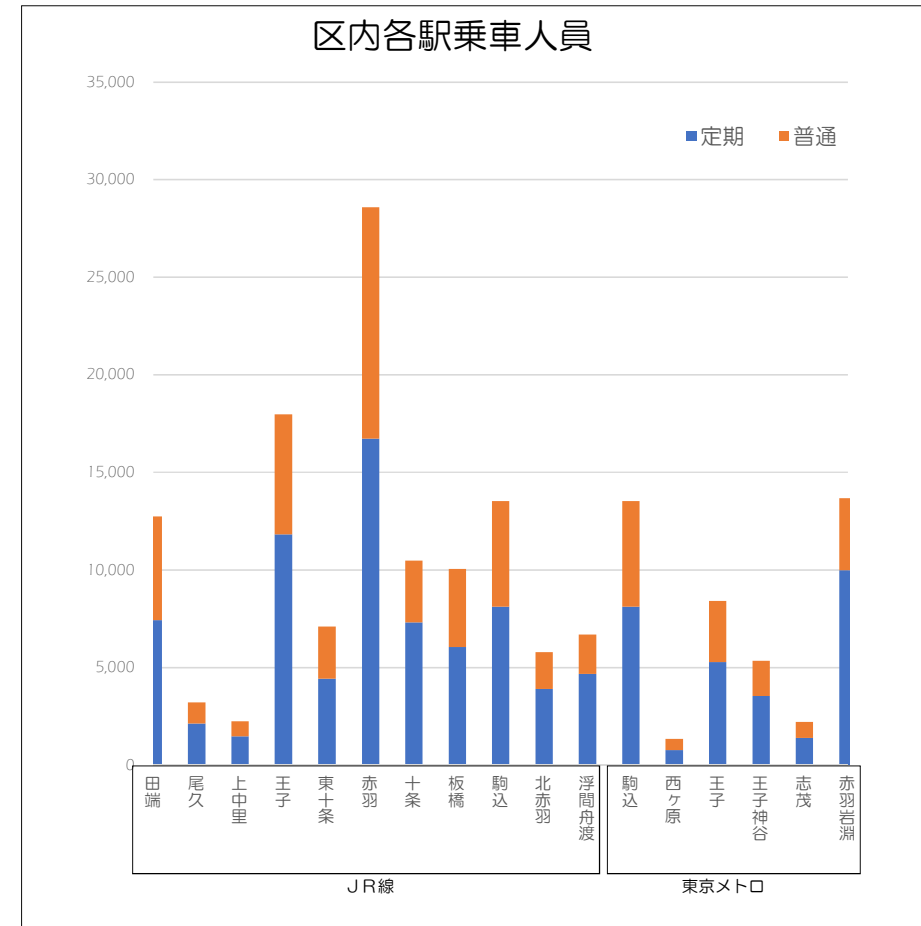
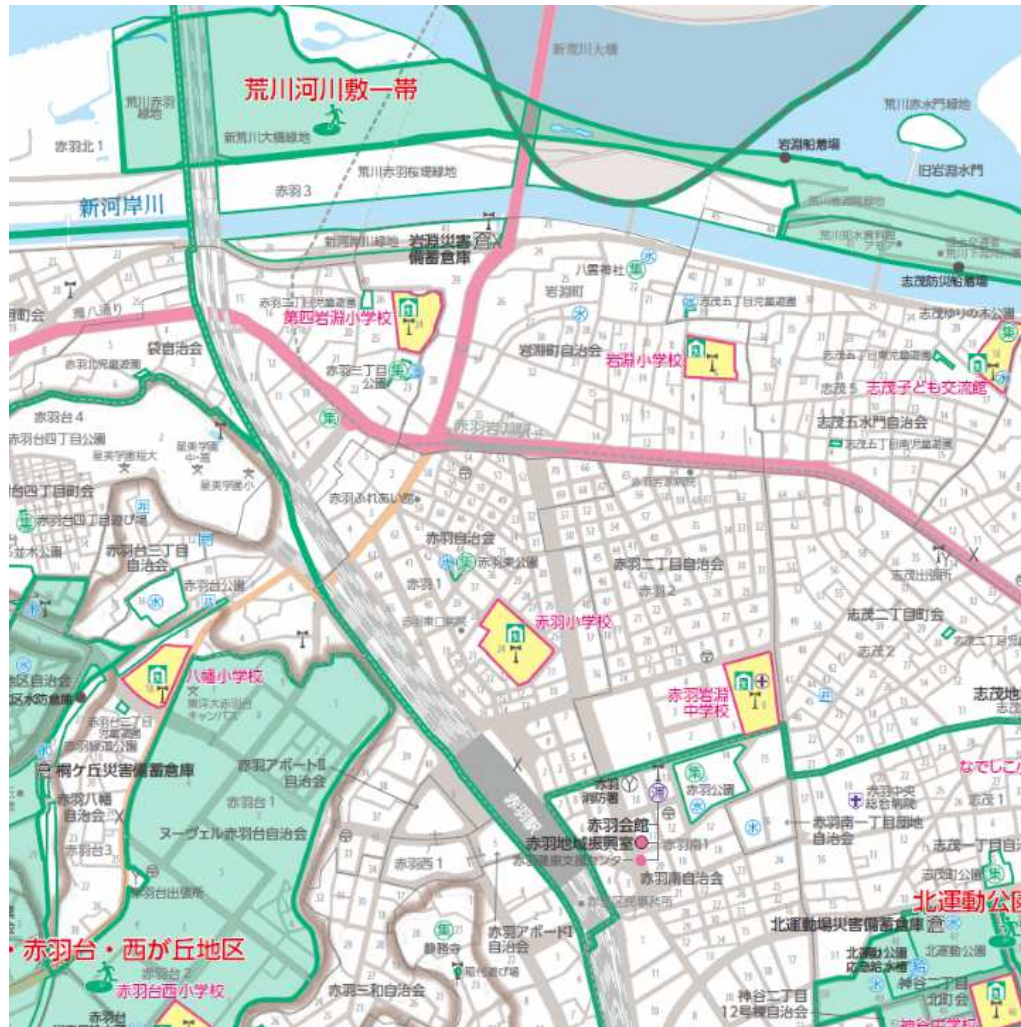
古い木造建築物密度は駅周辺  
も高い





■震災

駅周辺及び北本通り等（帰宅支援対象道路）では帰宅困難者対策が求められる。



(データ出典：東京都統計年鑑 令和3年より)



**避難所 (区立小・中学校等)**  
災害で家が壊れる、燃えるなどで住めなくなった時に、しばらく生活する場所。



**北区指定帰宅支援対象道路**  
災害時、徒歩で帰宅するために区が指定した道路。



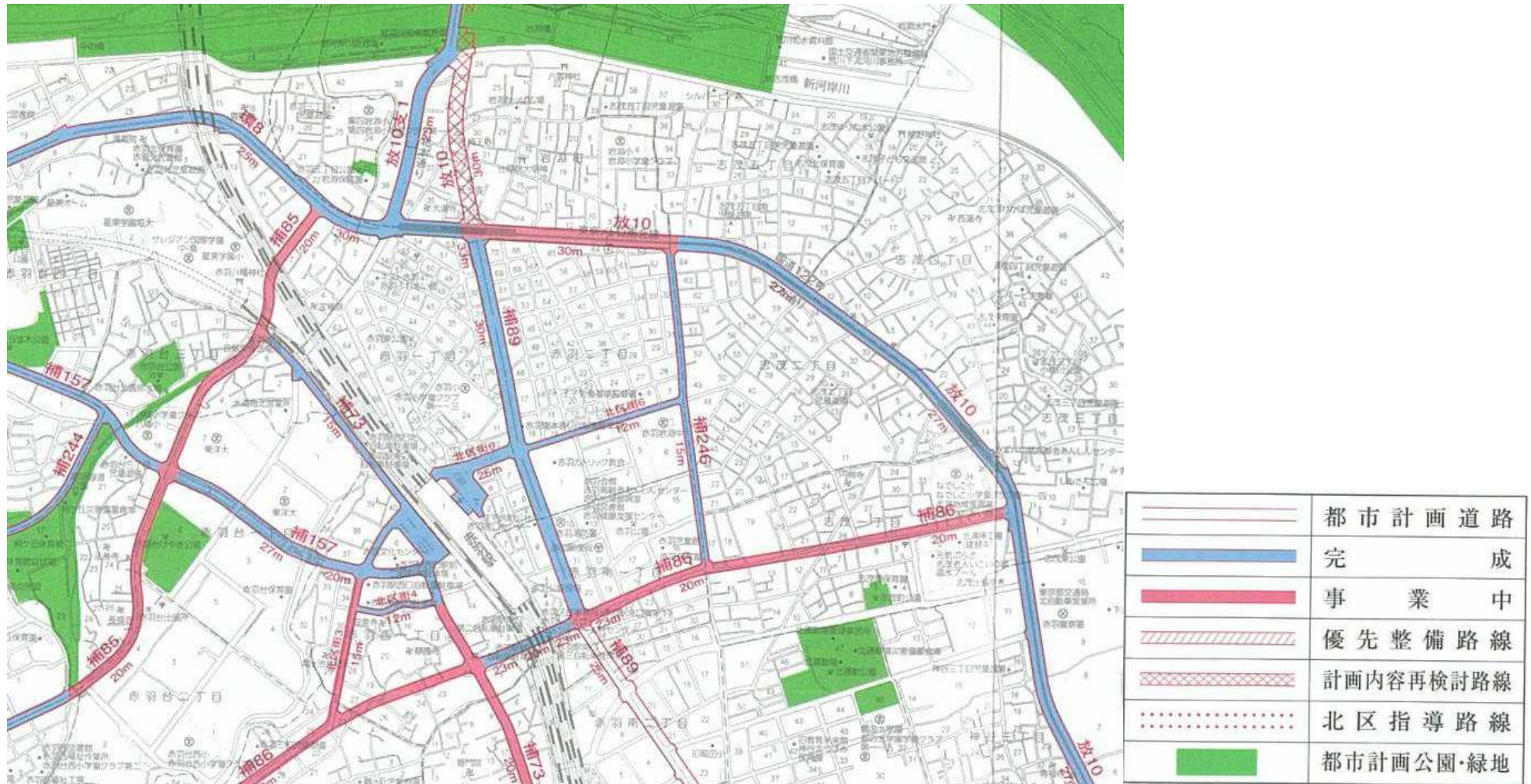
**都指定帰宅支援対象道路**  
災害時、徒歩で帰宅するために都が指定した道路。都県境を越えて指定されている。水やトイレの供給が行われます。

⇒都県を超える徒歩帰宅者・駅前滞留者への対応



## ■道路ネットワーク

赤羽駅周辺の都市計画道路網（地区をまたがる道路ネットワーク）の整備が進められている。



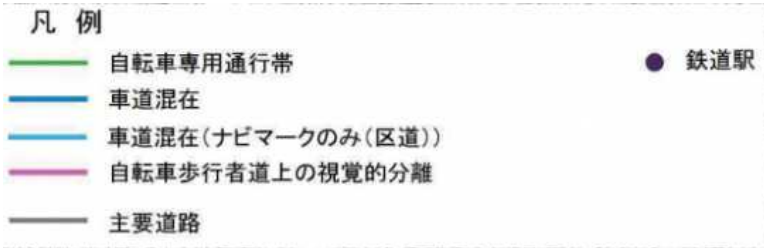
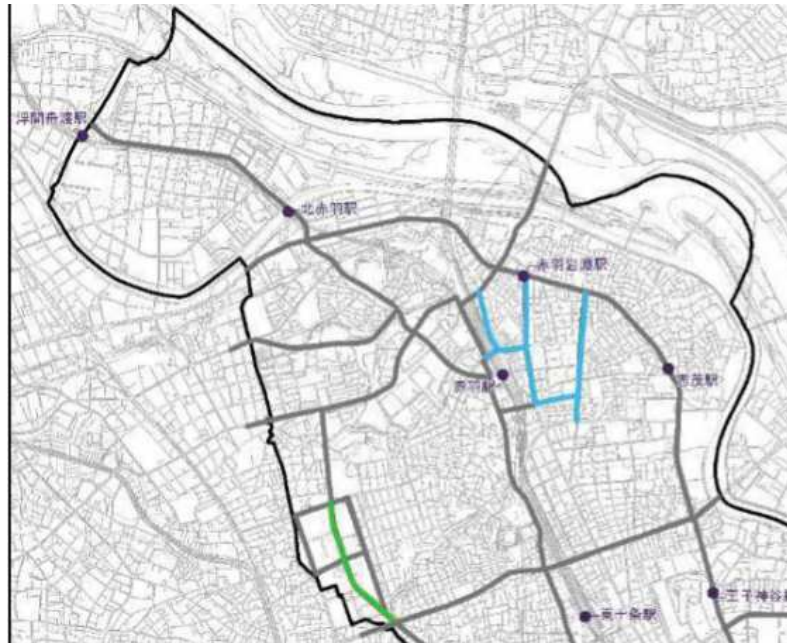
出典：東京都北区都市計画道路図（R6.4）



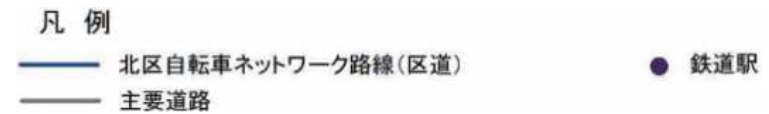
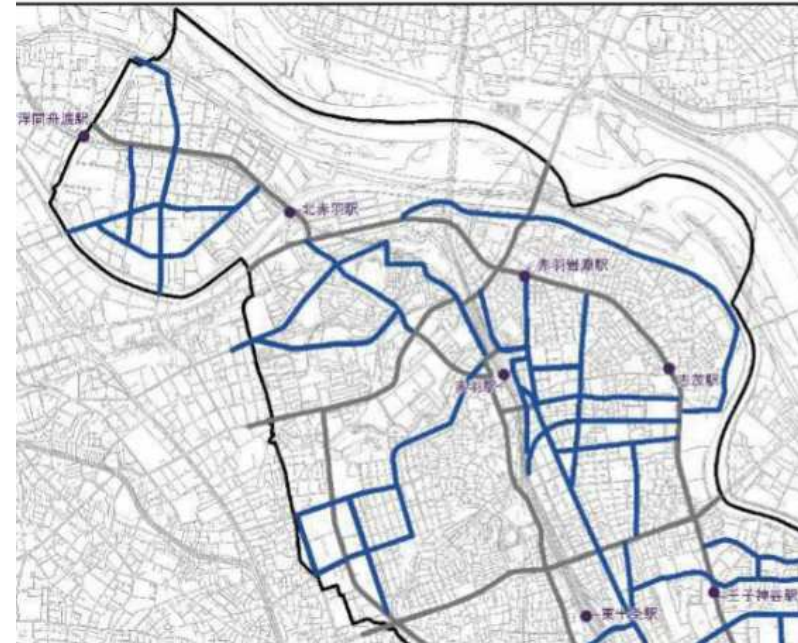
■歩行者・自転車環境

自転車走行空間の整備が進められている。

自転車走行空間整備済み区間



■北区自転車ネットワーク路線図



出典：北区自転車ネットワーク計画（H31.3）

## ■歩行者・自転車環境

### ◇放置自転車

現在は、改善傾向にあるものの、赤羽駅は東京都の放置台数が多い上位10駅に度々ランクインし、平成27年から4年連続でワースト1位となっていた。

(R4年度：都内における駅前放置自転車の現況 東京都生活文化スポーツ局より抜粋)

### ◇有料制自転車駐車場の設置

- 赤羽駅東口では、平成30年4月に赤羽駅東本通りに253台、平成31年4月に赤羽駅東口に267台、令和3年に赤羽駅西口駅前に79台の自転車駐車が歩道上に整備されたことにより放置自転車の状況が改善された。

赤羽東本通り  
計253台設置  
(H30.4)

赤羽駅東口  
計267台設置  
(H31.4)

赤羽駅  
西口駅前  
計79台設置  
(R3.6)

約600台が歩道上に設置されている

### ◇歩道の環境

- 自転車駐車が歩道上に設置されている。



赤羽駅東口自転車駐車場



赤羽東本通り自転車駐車場



出典：放置自転車整理（禁止）区域・有料制自転車駐車場・指定自転車置場の案内 より

⇒歩道上に自転車駐車が分散配置されている。

⇒歩上の自転車駐場にアクセスする自転車動線と歩行者動線が錯綜し、歩行者の安全が確保されない。

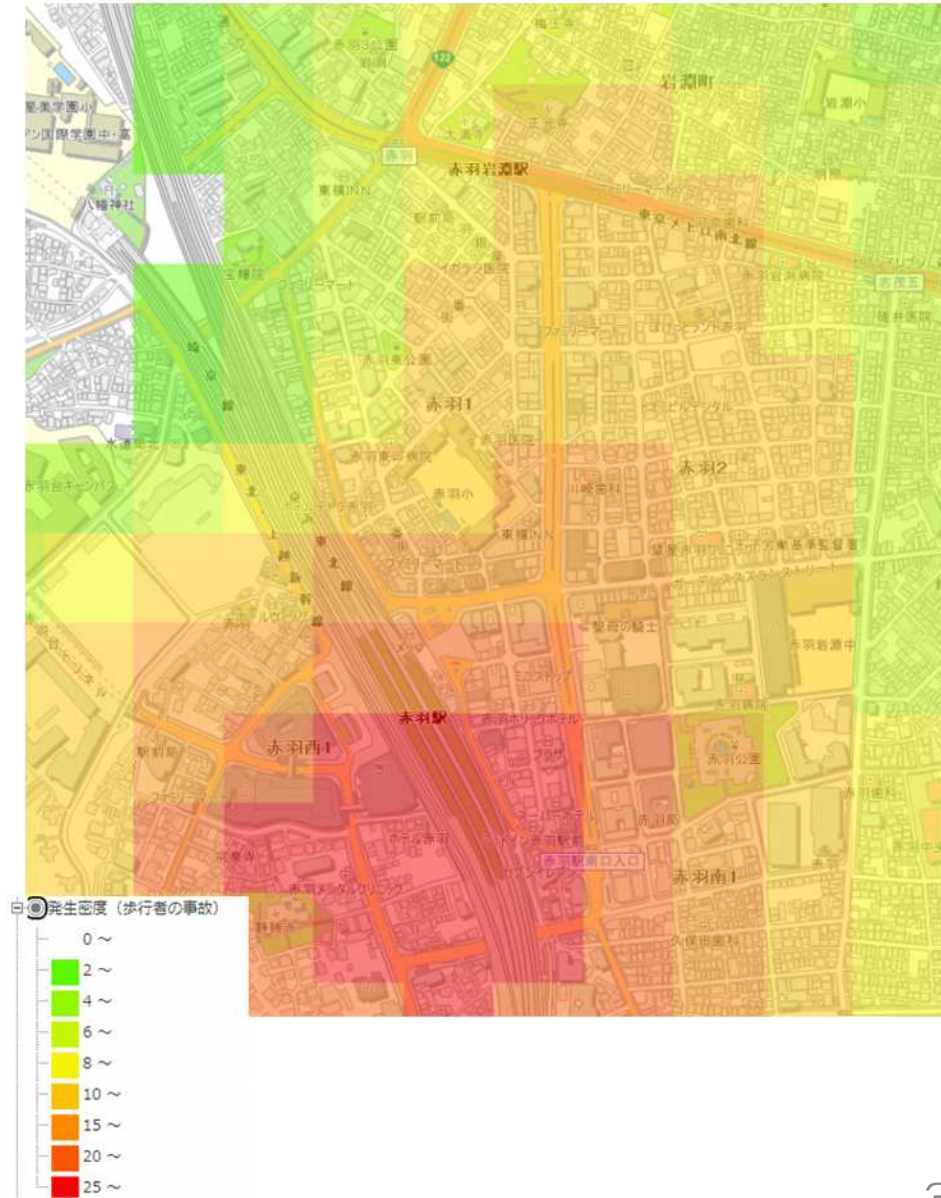
⇒駐輪場により歩行者空間が狭くなっている。



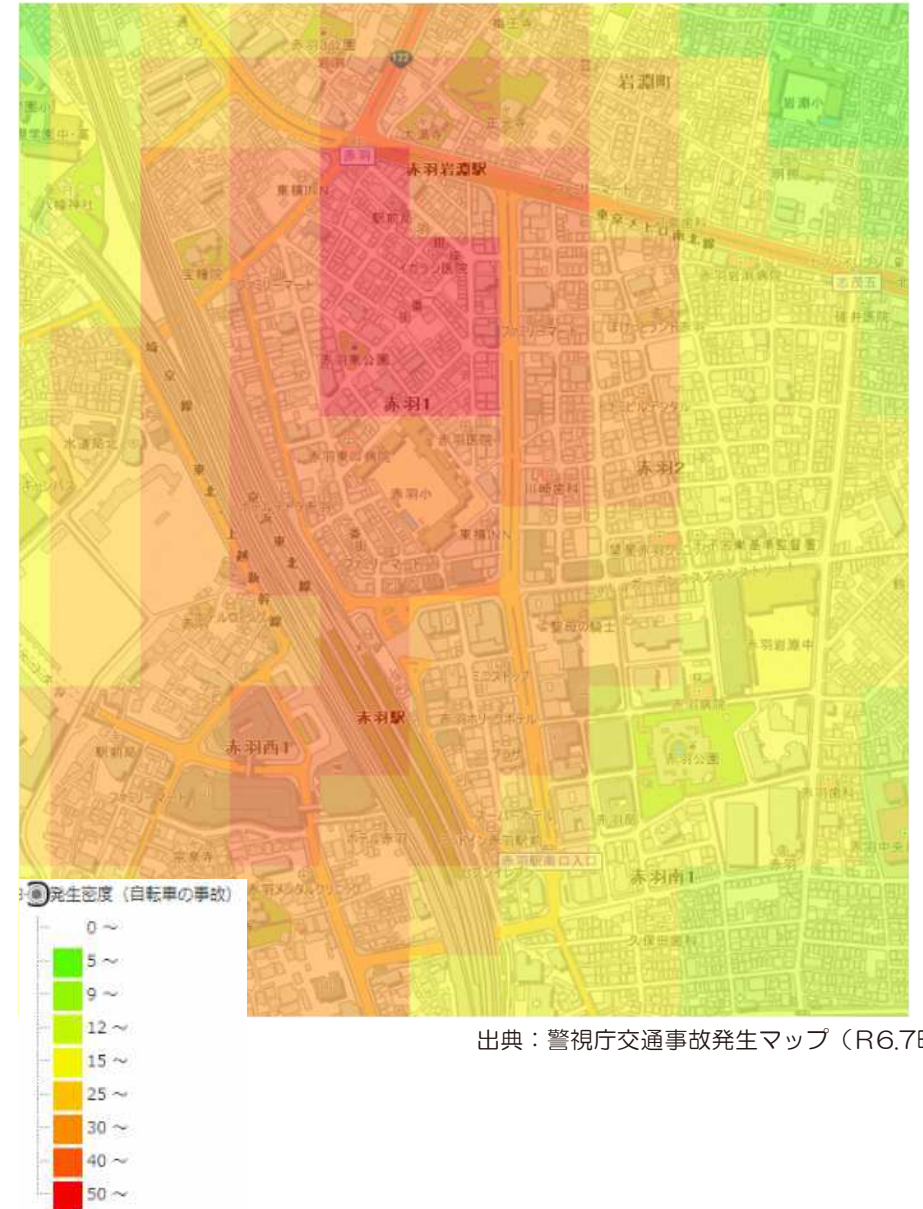
■歩行者・自転車環境（交通事故発生状況）

歩行者の事故は駅直近が多く、自転車の事故は赤羽駅北側（JR赤羽駅～メトロ赤羽岩淵駅）に多い傾向がある。

＜歩行者＞

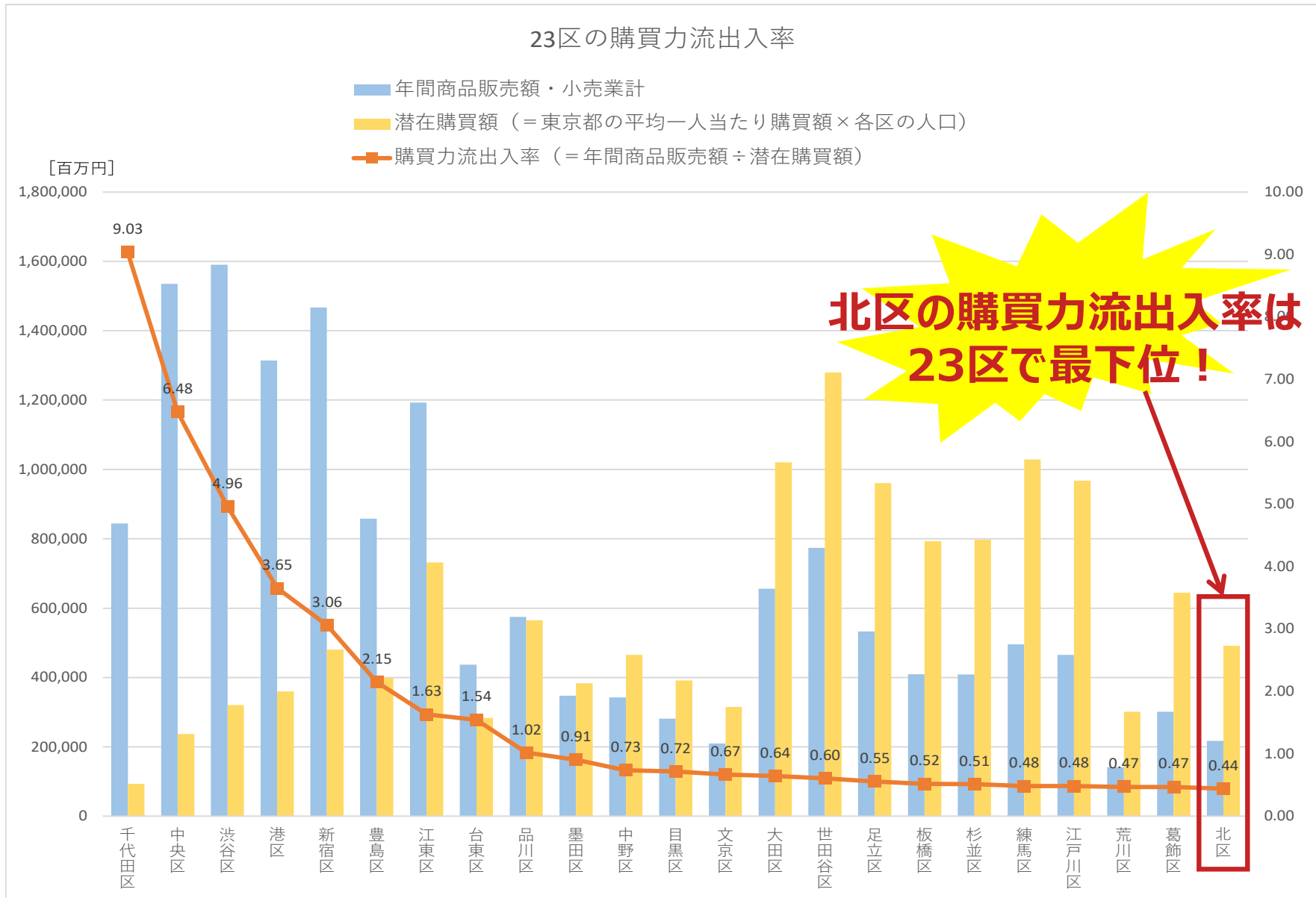


＜自転車＞



出典：警視庁交通事故発生マップ（R6.7時点）

■ 商業



⇒区民が地元で買物せず他都市へ流れている。

資料：令和3年経済センサス・活動調査、住民基本台帳人口



### 3. 意見交換（グループディスカッション）

#### 【パート1】〔30分 + 20分〕

事務局によるレクチャーとグループディスカッション

ハード面での問題と取組むべき課題

- 震災・水害に強い市街地の形成
- 利便性の高い交通環境の整備
- まちの魅力を高める公共的空間の整備
- 駅前にふさわしい都市機能の集積 他



最初にレクチャー形式で検討会事務局が説明し、グループディスカッションにより、確認・追加すべき課題等を議論

#### 【パート2】〔20分〕

グループディスカッション

まちづくりをする上で大切にしたい価値観

- 住むまちとしての魅力（多世代）
- 訪れる（遊ぶ、学ぶetc）まちとしての魅力
- 次世代を育むまちとしての魅力



ここはワークショップ形式のディスカッションで何を大切にしたいか話し合い確認し合う

#### 【パート3】〔20分〕

まとめの発表とディスカッション

### 3. 意見交換（グループディスカッション）

【パート1】〔30分 + 20分〕  
事務局によるレクチャーとグループディスカッション

ハード面での問題と取り組むべき課題

- 震災・水害に強い市街地の形成
- 利便性の高い交通環境の整備
- まちの魅力を高める公共的空間の整備
- 駅前にふさわしい都市機能の集積 他

最初にレクチャー形式で検討会事務局が説明し、  
グループディスカッションにより、確認・追加  
すべき課題等を議論します

〔1〕本資料にもとづきハード面での問題と取り組むべき  
課題（ミッション）について説明をさせていただきます  
（約30分）

〔2〕グループごとにハード面での問題と取り組むべき課題  
について話し合います  
（約20分）

話題① 説明のあった問題に関連して普段感じていること  
（約8分）

委員の皆さまから

- 普段どのようなことに困っているか
  - 問題に関連してどのような場面を目にするか？
  - 他に扱うべき問題はないか
- についてご意見をいただきます

話題② 説明のあった課題（ミッション）に関連して  
取り組むべき課題が他にないか （約8分）

委員の皆さまから

- 説明のあった以外に取り組むべき課題（ミッション）  
がありそうか
  - 説明があった中で「取り組むべきでない」という課題  
（ミッションがありそうか）
- についてご意見をいただきます

まとめ みなさんからのご意見を振り返って、  
グループの意見としてまとめを行います  
（約5分）



### 3. 意見交換（グループディスカッション）

【パート2】〔20分〕  
グループディスカッション

まちづくりをする上で  
大切にしたい価値観

- 住むまちとしての魅力（多世代）
- 訪れる（遊ぶ、学ぶetc）まちとしての魅力
- 次世代を育むまちとしての魅力



ここはワークショップ形式のディスカッション  
で何を大切にしたいか話し合い確認し合う

〔1〕 赤羽駅周辺で大事にしたい価値観について  
各グループで話し合います

（約20分）

話題① 「誰か」の立場に立って、「赤羽駅周辺にどのような場所があったら嬉しいか」考えてみます  
（約8分）

委員の皆さまから

- ○○な人が△△のために必要な場所があるとしたらそれはどのような場所？

など、テーマを記載したカードを引いていただいてそのテーマに沿って、ご意見をいただきます

話題② 委員の皆様の視点で自由に、赤羽駅周辺に必要な場所や機能についてご意見をいただきます。  
（約8分）

委員の皆さまそれぞれの視点で自由に「○○の視点に立つとき△△な場所が必要だと思います」などのご意見をいただきます

まとめ 委員の皆さまからいただいたご意見を振り返り、新しい赤羽駅周辺で求められる場所の性格（求められる価値観、大切にしたい価値観）をグループの意見としてまとめます  
（約5分）

### 3. 意見交換（グループディスカッション）

【パート3】〔20分〕  
まとめの発表とディスカッション

〔1〕各グループで話し合った結果について発表をおこないます

（約10分）

テーマ①：赤羽駅周辺の問題や取り組むべき課題について

テーマ②：赤羽駅周辺のまちづくりで大事にしたい価値観について

各グループ2テーマ  
合わせて5分ずつ

計10分

〔2〕両グループの発表後、相手グループの発表についての質問や意見交換をおこないます

（約5分）

〔3〕意見交換後、会長・副会長からの講評と 今回の検討会で出された意見のまとめをおこないます

（約5分）

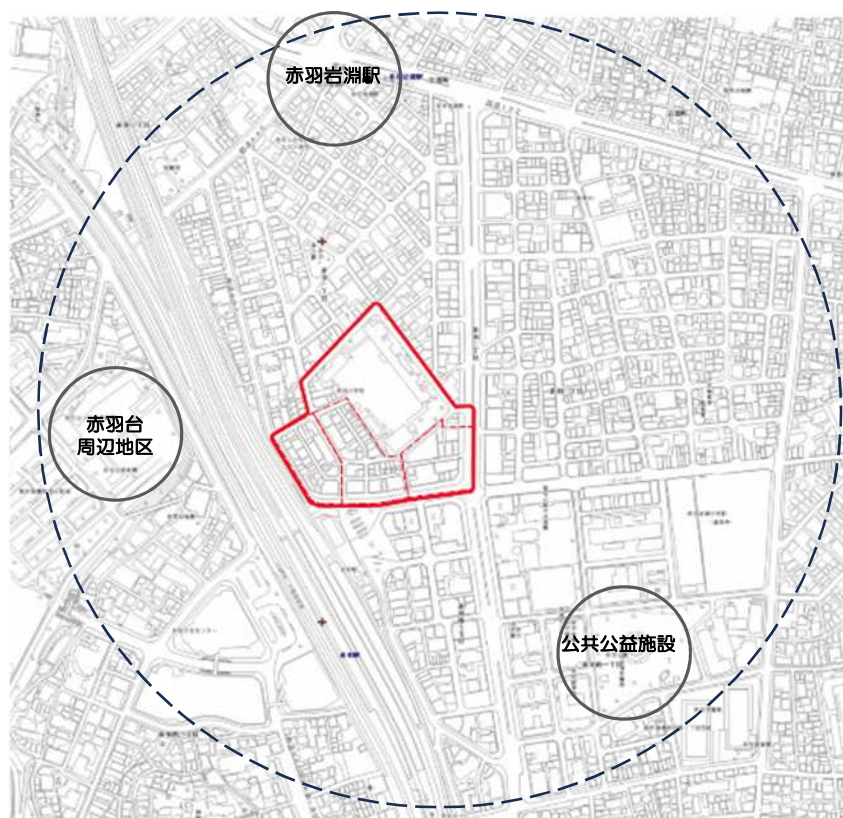


## 4. 今後の進め方等について

### (1) アンケート調査【調整中】

- まちづくり基本計画における、赤羽の魅力や課題について、赤羽駅東口周辺地区にお住まいの区民に向けてアンケート調査を実施します。

対象	調査方法	配布数
赤羽駅東口周辺地区の居住者（抽出）	・アンケート用紙と返信用封筒を郵送（Web回答も可）	約1,400票



「周辺区域」の想定範囲

#### ■無作為による抽出調査

赤羽1～3丁目、赤羽南1丁目、赤羽西1丁目内に1年以上居住している18歳以上の区民

#### ■アンケート内容

本日まで議論いただいた内容と同じ

- 赤羽駅周辺の問題や取り組むべき課題
- 赤羽駅周辺のまちづくりで大事にしたい価値観

## 4. 今後の進め方等について

### (2) 第7回検討会について

- 日時 令和6年（2024年）10月7日（月）14時～
- 会場 北とぴあ 1601会議室
- 内容
  - ・グループワーク②
  - ・目指すべきまちづくりの方向性について

### (3) 第8回検討会について

- 日時 令和6年（2024年）11月18日（月）14時～
- 会場 北とぴあ 1601会議室
- 内容
  - ・目指すべきまちづくりの方向性とまちづくりを実現するための方針について
  - ・これまでの議論の経過のまとめの報告について

### (4) これまでの議論の経過のまとめの報告

- 日時 令和6年（2024年）12月中旬頃